

「身近な人を亡くした子どもとその家族のつどい」研修会 ～喪失を経験した子どもに寄り添うこと～

突然の死による衝撃の渦にある大人たちのそばで、
子ども達は一見元気そうに見えることも多く、周囲はどのように関わったらよいのか迷います。
今回は、亡くなった直後から当センターの様々な活動につながり、
しばらくのお休みを経て現在は子どものつどいファシリテーターを務める大学生家族が、
母子でそれぞれの思いを語ってくださることになりました。
そして、「喪失を経験した子どもに寄り添うこと」をテーマに、
あしなが育英会心のケア事業部の相澤治さんにお話しいただき、
かけがえのない人を亡くした家族へ私たちはどのような関りができるのか、
一緒に考えることが出来たらと願っております。

定員
40名

参加費
無料

2023年 2月 23日 木 祝

14:00 ~ 16:30

聖路加国際病院旧館5階研修室 A

(東京都中央区明石町 9-1 地下鉄新富町・築地駅下車)

「父の死から9年、つどいファシリテーターとなり、今、思うこと」

元参加者、現在子どものつどい大学生スタッフ

「自分らしい日々を見出す道のり」

元参加者 上記大学生の母

「喪失を経験した子どもに寄り添うこと」

あしなが育英会心のケア事業部 相澤 治

対象 親やきょうだいを亡くした子どもとその家族の支援に関心のある方

主催・問合せ・申込 NPO 法人全国自死遺族総合支援センター ✉ office@izoku-center.or.jp